



2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 AGC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 島村 琢哉
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 玉城 和美 (TEL) 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 2020年8月4日 配当支払開始予定日 2020年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	654,545	△11.2	20,579	△50.4	16,456	△61.3	13,262	△63.5	11,440	△64.6	△53,440	-
2019年12月期第2四半期	737,489	△1.1	41,487	△31.2	42,556	△34.5	36,332	△31.6	32,286	△32.9	19,081	-

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	51.70	51.49
2019年12月期第2四半期	145.95	145.29

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,534,990	1,217,137	1,093,459	43.1
2019年12月期	2,335,415	1,282,636	1,157,097	49.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	60.00	-	60.00	120.00
2020年12月期	-	60.00	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰 属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	△11.1	40,000	△60.6	-	-	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(連結業績予想および配当予想について)

通期連結業績予想のうち、売上高、営業利益については、新型コロナウイルス感染拡大による影響につき、事業や地域に差はあるものの、経済活動の段階的再開に伴い当社グループの業績が2020年第2四半期を底として緩やかに回復するとの前提の下、算定を行っています。

税引前利益、当期純利益および親会社の所有者に帰属する当期純利益並びに配当予想については、構造改善策等を実施した場合に発生しうる追加的な費用が現時点では未定のため、今後、合理的な予想が可能となった時点で改めて開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は8ページ「1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	227,441,381株	2019年12月期	227,441,381株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	5,828,642株	2019年12月期	5,870,670株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	221,282,271株	2019年12月期2Q	221,214,186株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足説明資料(「2020年12月期第2四半期業績説明会資料」)を作成しており、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	2
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	3
(要約四半期連結純損益計算書)	3
(要約四半期連結包括利益計算書)	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	5
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	9
(その他収益及びその他費用)	10
(重要な後発事象)	10

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	113,784	382,594
営業債権	264,102	217,501
棚卸資産	291,224	293,591
その他の債権	46,387	63,660
未収法人所得税	6,849	5,465
その他の流動資産	20,263	17,277
流動資産合計	742,612	980,090
非流動資産		
有形固定資産	1,177,691	1,185,095
のれん	103,946	101,893
無形資産	69,964	65,395
持分法で会計処理されている投資	33,204	33,849
その他の金融資産	138,053	118,180
繰延税金資産	21,297	22,883
その他の非流動資産	48,644	27,602
非流動資産合計	1,592,802	1,554,899
資産合計	2,335,415	2,534,990
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	152,502	119,047
短期有利子負債	78,439	258,048
1年内返済予定の長期有利子負債	80,101	64,576
その他の債務	140,722	164,335
未払法人所得税	8,867	6,284
引当金	3,968	2,480
その他の流動負債	17,887	17,903
流動負債合計	482,490	632,678
非流動負債		
長期有利子負債	444,301	569,268
繰延税金負債	41,846	27,662
退職給付に係る負債	62,454	62,093
引当金	8,286	7,435
その他の非流動負債	13,399	18,714
非流動負債合計	570,288	685,174
負債合計	1,052,778	1,317,852
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	92,593	94,262
利益剰余金	811,589	810,129
自己株式	△28,468	△28,246
その他の資本の構成要素	190,510	126,440
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,157,097	1,093,459
非支配持分	125,538	123,678
資本合計	1,282,636	1,217,137
負債及び資本合計	2,335,415	2,534,990

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結純損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	737,489	654,545
売上原価	△545,953	△496,993
売上総利益	191,536	157,551
販売費及び一般管理費	△150,705	△137,390
持分法による投資損益	657	418
営業利益	41,487	20,579
その他収益	5,951	1,347
その他費用	△5,319	△4,244
事業利益	42,120	17,682
金融収益	7,572	3,357
金融費用	△7,136	△4,583
金融収益・費用合計	436	△1,226
税引前四半期利益	42,556	16,456
法人所得税費用	△6,223	△3,193
四半期純利益	36,332	13,262
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	32,286	11,440
非支配持分に帰属する四半期純利益	4,045	1,821
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益 (円)	145.95	51.70
希薄化後1株当たり四半期純利益 (円)	145.29	51.49

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	36,332	13,262
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債（資産）の純額の再測定	7,111	△11,719
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	2,169	△13,590
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△68	△3
純損益に振り替えられることのない項目合計	9,213	△25,313
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	△759	△178
在外営業活動体の換算差額	△25,704	△41,210
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△26,463	△41,389
その他の包括利益（税引後）合計	△17,250	△66,702
四半期包括利益合計	19,081	△53,440
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	15,731	△52,130
非支配持分に帰属する四半期包括利益	3,350	△1,309

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	94,368	773,760	△28,821	△37,767	70,288
会計方針の変更の影響	—	—	△168	—	—	—
修正再表示後期首残高	90,873	94,368	773,591	△28,821	△37,767	70,288
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	32,286	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,095	2,155
四半期包括利益合計	—	—	32,286	—	7,095	2,155
所有者との取引額等						
配当	—	—	△13,289	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△7	—	—
自己株式の処分	—	—	△129	261	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2,907	—	—	△2,907
株式報酬取引	—	△2	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△68	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△71	△10,511	253	—	△2,907
期末残高	90,873	94,297	795,367	△28,567	△30,672	69,535

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	103	174,399	207,023	1,137,204	116,399	1,253,604
会計方針の変更の影響	—	—	—	△168	△117	△286
修正再表示後期首残高	103	174,399	207,023	1,137,035	116,281	1,253,317
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	32,286	4,045	36,332
その他の包括利益	△727	△25,078	△16,554	△16,554	△695	△17,250
四半期包括利益合計	△727	△25,078	△16,554	15,731	3,350	19,081
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△13,289	△3,301	△16,591
自己株式の取得	—	—	—	△7	—	△7
自己株式の処分	—	—	—	132	—	132
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△2,907	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△2	—	△2
その他企業結合等	—	—	—	△68	382	314
所有者との取引額等合計	—	—	△2,907	△13,236	△2,918	△16,155
期末残高	△623	149,320	187,560	1,139,531	116,713	1,256,244

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	92,593	811,589	△28,468	△31,445	55,786
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	11,440	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△11,814	△13,588
四半期包括利益合計	—	—	11,440	—	△11,814	△13,588
所有者との取引額等						
配当	—	—	△13,294	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	—
自己株式の処分	—	—	△104	228	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	498	—	—	△498
株式報酬取引	—	△1	—	—	—	—
その他企業結合等	—	1,671	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,669	△12,900	221	—	△498
期末残高	90,873	94,262	810,129	△28,246	△43,259	41,699

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△665	166,833	190,510	1,157,097	125,538	1,282,636
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	11,440	1,821	13,262
その他の包括利益	△202	△37,964	△63,570	△63,570	△3,131	△66,702
四半期包括利益合計	△202	△37,964	△63,570	△52,130	△1,309	△53,440
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△13,294	△4,089	△17,383
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	123	—	123
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△498	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△1	—	△1
その他企業結合等	—	—	—	1,671	3,539	5,210
所有者との取引額等合計	—	—	△498	△11,507	△550	△12,058
期末残高	△868	128,869	126,440	1,093,459	123,678	1,217,137

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	42,556	16,456
減価償却費及び償却費	69,460	72,199
減損損失	-	30
受取利息及び受取配当金	△6,516	△3,277
支払利息	6,141	4,156
持分法による投資損益	△657	△418
固定資産除売却損益	364	1,289
営業債権の増減額	3,904	42,694
棚卸資産の増減額	△10,269	△8,708
営業債務の増減額	△11,931	△30,330
その他	24,388	27,403
小計	117,443	121,495
利息及び配当金の受取額	6,683	3,638
利息の支払額	△6,500	△4,283
法人所得税の支払額又は還付額	△15,601	△9,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,024	111,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△92,110	△85,056
有形固定資産の売却による収入	2,193	2,036
その他の金融資産の取得による支出	△791	△22,367
その他の金融資産の売却及び償還による収入	8,227	2,269
子会社又はその他の事業の取得による支出	△39,465	△1,031
その他	779	△284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,167	△104,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	38,331	179,686
長期有利子負債の借入及び発行による収入	60,004	161,904
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△58,969	△61,489
非支配持分株主からの払込みによる収入	750	3,540
自己株式の取得による支出	△7	△6
配当金の支払額	△13,289	△13,294
非支配持分株主への配当金の支払額	△3,301	△4,089
その他	0	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,516	266,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,532	△4,465
現金及び現金同等物の増減額	1,840	268,809
現金及び現金同等物の期首残高	123,503	113,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	125,343	382,594

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。以下の基準書の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

基準書	基準名	概要
IFRS第3号 (2018年10月改訂)	企業結合	事業の定義の明確化
IAS第1号 IAS第8号 (2018年10月改訂)	財務諸表の表示 会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	重要性の定義の明確化

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いた全ての収益・費用が含まれております。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表の作成において、資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を設定しております。そのため、会計上の見積りと実績は異なることがあります。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積り及び仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

見積り及びその仮定は継続して見直しております。これらの見積り及び仮定の見直しによる影響は、その見積り及び仮定を見直した会計期間及びそれ以降の会計期間において認識しております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響については、事業や地域に差はあるものの、経済活動の段階的再開に伴い、当社グループの業績が当第2四半期会計期間を底として緩やかに回復するとの前提のもと、有形固定資産の減損、のれん及び無形資産の減損並びに繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積り及び判断を行っております。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に、「ビルディング・産業ガラス」「オートモーティブ」「電子」「化学品」の4カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

なお、「ビルディング・産業ガラス」及び「オートモーティブ」につきましては、サプライチェーンの最上流に位置し最大の資産であるフロート板ガラス製造設備（ガラス溶解窯）等を、共同で活用しており、両カンパニー共用の資産・負債が併存しております。共用の状況は生産や販売の需給変動で左右されます。これらの状況を考慮し、財務諸表については分離することが困難であるため、「ビルディング・産業ガラス」及び「オートモーティブ」にて「ガラス」セグメントとし、財務諸表を作成しております。また、経営資源の配分の決定がそれぞれの業績に密接に影響を与え、業績評価についても不可分の関係にあることから、全体最適生産、シナジー効果の維持等を目的に、両カンパニープレジデント等参加の下で「ガラスセグメント会議」等を設置し、グループ利益の最大化を協働で図っております。これらの状況を踏まえて、「ビルディング・産業ガラス」及び「オートモーティブ」にて「ガラス」セグメントとして報告しております。

したがって、当社グループは、「ガラス」「電子」「化学品」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラス等
電子	液晶用ガラス基板、有機EL用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、プリント基板材料、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル、塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医農薬中間体・原体、ヨウ素製品等

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	374,329	118,378	227,877	16,904	737,489	—	737,489
セグメント間の売上高	858	6,219	671	23,489	31,239	△31,239	—
計	375,187	124,598	228,548	40,394	768,728	△31,239	737,489
セグメント利益又は損失 (営業利益)	7,375	5,969	26,174	2,023	41,542	△54	41,487
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	36,332

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	293,039	135,136	211,613	14,755	654,545	—	654,545
セグメント間の売上高	1,173	3,441	817	23,448	28,880	△28,880	—
計	294,212	138,577	212,431	38,204	683,425	△28,880	654,545
セグメント利益又は損失(営業利益)	△20,752	17,356	22,656	1,383	20,644	△65	20,579
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	13,262

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
為替差益	2,417	—
固定資産売却益	1,107	257
その他	2,426	1,089
その他収益合計	5,951	1,347

その他費用

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
為替差損	—	△251
固定資産除却損	△1,471	△1,547
事業構造改善費用	△2,911	△765
その他	△935	△1,680
その他費用合計	△5,319	△4,244

(重要な後発事象)

(Molecular Medicine S.p.A. 株式取得)

当社グループは、2020年3月16日開催の取締役会において、遺伝子・細胞治療を事業領域とするMolecular Medicine S.p.A.の普通株式を株式公開買付によって取得することを決定し、2020年7月31日付で同社を子会社化する予定です。

取引の概要

- ① 被取得企業の名称 Molecular Medicine S.p.A.
- ② 被取得企業の事業内容 遺伝子・細胞治療医薬品開発・CDMO
- ③ 企業結合を行う主な理由

当社グループは、バイオ医薬品CDMO事業を含むライフサイエンス事業を戦略事業のひとつと位置付けており、2025年に1,000億円以上の売上規模を目指しています。このたびのMolecular Medicine S.p.A.の買収により、先端技術分野である遺伝子・細胞治療の領域に新たに参入し、合成医薬品・既存バイオ医薬品のみならず、遺伝子・細胞治療までCDMO事業の幅を広げることになります。

- ④ 企業結合日 2020年7月31日(予定)
- ⑤ 企業結合の法的形式 株式の取得
- ⑥ 取得対価 223百万ユーロ
- ⑦ 取得後の議決権保有割合 93.23%